

# オリ・パラフェスティバル

～育まれるスポーツへの関心～

レミたんの  
ハンドボール教室



1月16日、子どもたちが多古町民体育館でオリンピック、パラリンピックの競技を体験しました。総勢30人の子どもたちが、パラリンピック種目の、目標球へいかにボールを近づけるかを競う「ボッチャ」、音を頼りにボールを追う「ゴールボール」やオリンピック種目の「ハンドボール」をプレーしました。

ハンドボールでは土井選手がコーチを務めました。普段経験したことのない競技や、世界トップレベルのアスリートとの交流という貴重な経験に、子どもたちからは「とても楽しかった」、「また参加したい」という声がたくさん上がりました。土井選手は「子どもたちの上達が早く、今からハンドボールクラブを作ったら良いチームになりそうだ」と驚いていました。今回の貴重な経験が多古町のスポーツ文化にとって新しい風となることを期待します。



全力投球!!



狙いを定めて一球入魂!  
ボッチャ



耳を澄ませてボールを追え!  
ゴールボール



# レミたんが多古町観光大使に就任!

Tourism Ambassador of TAKO



## 就任! 多古町観光大使 世界に向けて多古を発信

1月16日に生涯学習文化講演会が開催され、東京オリンピックハンドボール男子日本代表主将を務め、TikTokでは450万人のフォロワーを誇り「レミたん」の愛称で親しまれている土井レミイ杏利選手が講師として登壇しました。講演会に先立ち多古町観光大使の委嘱式が行われ、土井選手が多古町では初となる観光大使に就任しました。

土井選手からは「幼少期から育った町に貢献できてうれしい」、「多古町を全国、世界に知ってもらうため、SNSなどを使って魅力を発信していく」と力強いコメントをいただきました。町も土井選手を応援し、一緒に多古町を盛り上げていきます。



土井選手に花束を贈呈するJLCの皆さん

## オリンピック 出場までの軌跡

—生涯学習文化講演会—

講演会は、土井選手と多古町出身のフリーアナウンサー金杉陽子さんとのフリートークの形式で進行了ました。土井選手は人生の目標となったハンドボールとの出会いや、いつも支えてくれた家族との絆などを話してくれました。やりたいたいことを支えてくれた感謝の言葉を話していた一方で、中途半端なことをしていると怒られたと語り、当時のことを目を細めながら懐かしそうに話してくれました。

また、「自分ほど失敗している選手はいない、そこからしっかりと学ぶことができればそれは失敗ではない」と失敗から学ぶことの大切さを伝えてくれました。

講演会の最後には、「一人でも多くの人に笑顔を届け、みんなの『当たり前の中』にハンドボールがあるようにしたい」と普及への夢を語りました。



司会の金杉さんと土井選手